

## 令和 3 年度 花育推進事業の取り組みについて

## 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	R2	R3	目標時 R4	備考	
<b>花育の普及啓発</b> (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	1,698	1,560	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 3回	各年 2回	食と花の 推進課
<b>家庭, 学校, 職場等での花育の推進</b> (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	- 紹介に変更	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムや アグリ・スタディ・プログラム等の 実施団体数	団体	30	51	58	70	食育・花育 センター
6	保育所, 幼稚園, 小学校の地域との 連携による花育活動実施率	%	48	47	45	60	学校支援課 保育課
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	0	0	20	食と花の 推進課
<b>市民活動, 地域活動としての花育の推進</b> (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	318	335	400	みどりの 政策課
<b>「花や緑」あふれる自然や歴史, 文化を次世代へ継承する花育の推進</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流 通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	0	0	330	秋葉区 産業振興課
<b>「花や緑」に親しむ場の整備</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用 した植栽による景観形成等への取 組み率	%	77.6	85.3	86.3	90.0	農村整備・ 水産振興課

(各概要については次ページ以降に記載)

### (1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページ、SNSなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部／3回

配布場所 庁内関係課、小・中学校、幼稚園・保育園等  
区役所、公民館、図書館、花関連施設 など

### (2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、苔やアロマ等多種多様な講座を計78回開催し、2,210人が受講した。4月～6月中旬まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、園芸講座及びイベント等の花育体験活動の実施を中止した。展示会は5月末から再開し、16回行った。

園芸講座 1,560人／61回 花育ミニ体験 650人／17回

展示会 17回

プランターでイチゴ栽培講座

秋の寄せ植え講座

腐葉土づくり講座



### (3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間（4月・10月）」・「花育の日（4月19日・10月19日）」の普及推進  
＜4月の取り組み内容＞

- ・ 小売店32社45店舗の協力のもと、のぼり旗を掲揚し、店独自の特典やサービスとあわせて花の種をプレゼントした。
- ・ 食育・花育センターで4月10日、11日に開催された「春いくフェスタ」の体験参加者69人に花育PRセット（花の種、カイワレ大根種など）を配付した。



＜10月の取り組み内容＞

- ・ 10月16日（土）にいくとびあ食花主催の「にいがたフラワーマルシェ」と同時開催で花育体験ワークショップを3ブース開催し、122人が参加した。花育マスターや花育の日協力店によるワークショップを通して、花や植物に触れる楽しみを実感してもらう機会となった。



実施日 令和3年10月16日(土)

場 所 いくとぴあ食花 花とみどりの展示館

#### ○花育体験ワークショップ

参加者 122人

内 容 花育マスター ・ドライ&プリザをつかったハロウィンアレンジ or スワッグ  
・アロマセラピーのクラフト作り  
花小売店 ・生花のアレンジメント  
・フラワーアレンジメントのデモンストレーション

#### ○にいがたフラワーマルシェ

入場者 1,800人

内 容 「花とみどり」を通してSDGsについて取り組むイベント

- ・リサイクルマーケット ・コキアのほうき作り ・リサイクル鉢ペイント体験
- ・寄せ植え体験 ・寄せ植えコンテスト ・出張園芸相談 ・植物販売
- ・植物チャリティーオークション  
(売上は被災地の緑化支援に取り組む団体に寄付)

#### <3月の取り組み内容>

- ・ 春の花育の日、花育月間のPRを兼ねたアレンジメント講座を3月13日(日)にみなとぴあ敷地内の「旧第四銀行住吉町支店」で開催し、18人が参加した。

フラワーデザイナーの五十嵐仁さんによるデモンストレーションと、冬の終わりから春の芽吹きを表現するアレンジメント作りを行った。

参加者からは「斬新なデザインで楽しかった」、「身近にある花で楽しめるアレンジメントは初めて」、「素敵な空間でお花の講座が出来て良かった」などの感想が寄せられた。



#### (4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進 (資料1-2参照)

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等が行う花育活動へ講師、インストラクターとして紹介している。令和元年度より派遣から紹介に制度変更し、活動回数については花育マスターへのアンケート調査により把握している。

R3 花育マスター登録数 80人 (R2 77人)

R3 花育活動回数 642回/参加者数 4,938人 (R2 374回/4,294人)

#### (5) 団体プログラム等の実施

いくとぴあ食花(食育・花育センター)において、団体プログラムを市内外の小学校や幼稚園、保育園・こども園等を対象に実施した(新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセルが13件あった)。また、市内小学校1校が「アグリ・スタディ・プログラム」を実施した。

団体プログラム等 R3実績 実施校数 58件/対象者 1,698人

【内訳】小学校 39校/幼・保育園 18園/福祉関係団体 1団体



(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 (資料 1-3 参照)

回答率 95%	市立小学校 106校		市立保育園 83園		市立幼稚園 10園		全体 199校・園	
R3 花育活動実施	98校	96%	72園	91%	8園	100%	178校・園	94%
(参考)R2 花育活動実施	103校	97%	65園	77%	9園	90%	178校・園	88%
R3 地域連携	64校	63%	17園	22%	4園	50%	85校・園	45%
(参考)R2 地域連携	73校	69%	17園	20%	4園	40%	94校・園	47%

地域等との連携による花を通じた交流の取り組みの実施率は、昨年度の47%とほぼ同じ45%であり、コロナ禍の影響がみられた。一方で、花育活動の実施率は94%と昨年度の88%から回復し、特に減少幅が大きかった保育園において回復した。

花育活動の課題としては、「時間に余裕がない」が最も多く、「新型コロナウイルス感染症の影響で地域との連携が難しい」、「活動する予算がない」、「活動に関するノウハウがない」が順に続いた。

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合から花育マスターとして登録してもらい、小学校等の花育活動に派遣していたが、令和元年度に花育マスター制度を派遣から紹介に変更したことに伴い、生産団体の花育マスター登録数は0となった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園をはじめ、公共施設や道路用地で緑化活動を行う自治会、地域コミュニティ協議会等の団体への支援として、植栽する花苗などの購入費を補助し、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する事業。令和3年度は335団体が実施した。



(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

公共施設(新潟市7区役所)にて鉢花の寄せ植えを展示し、来庁者・来場者へPRを行った。



11月前半展示 南区役所



11月後半展示 秋葉区役所



12月前半展示 秋葉区役所



12月後半展示 西区役所

#### (10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

多面的機能支払交付金事業を活用した地域共同により、植栽やビオトープづくりなどの景観形成活動を通じ、農村環境の緑化への取り組みを行った。



## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を小学生と一般から募集し、全国から811人、1,205句（R2：778人、1,130句）の応募があった。市の銘産品であるチューリップ、ユリ、アザレア、ボケを題材として各部門の優秀句を選出し、新潟県花き振興協議会と新潟県花木振興協議会の協賛により、市産の花（チューリップ、アザレア）を記念品として贈呈した。また、応募された全句を市ホームページに掲載したほか、ほんぽ〜と（中央図書館）に優秀句を掲示した。

### (2) 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、専門の相談員による電話・メール・対面の相談を行った。

相談件数 5,178件（内訳：来館 2,346件 電話 2,558件 メール・FAX 274件）

### (4) 萬代橋チューリップフェスティバル

市民が育てた約2万6千本の市の花『チューリップ』で市のシンボルである『萬代橋』とその周辺を彩り、市民の皆さんと春の到来を喜び合った。

例年開催していたオープニングセレモニーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しなかったが、多くの市民が訪れ、たくさんのチューリップを見て楽しんでいた。

参加者 442団体及び個人(令和2年8月参加者募集、10月～翌年4月チューリップ育成)

主な参加者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等



「2021年萬代橋チューリップフェスティバル」



3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	「母の日」に新潟産の花を贈ろう	4月29日(木祝) ～5月3日(月祝)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など
2	にいがたサマーリリーフェア 2021 in NEXT21	7月13日(火)～ 16日(金)	NEXT21 1階 アトリウム	・ユリの装飾タワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らし提案展示 など
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月12日(金) ～14日(日)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 ・【SDGsの取り組み】展示終了後のアレンジメントと、メイン装飾花をミニブーケにしたものを来場者に抽選でプレゼント
4	2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ	2月6日(日)～ 13日(日)	新潟日報メディアシップ 1階 MS link	・チューリップを中心とした花のオブジェ ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など

「母の日」



「にいがたサマーリリーフェア 2021」



「いい夫婦の日」

「2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ」

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会による花絵制作

○Sunday だけのチューリップ花屋さん

令和2年度に続き万代シティでチューリップ販売を行った。

日 時 ①令和3年12月19日(日) ②令和4年3月13日(日)

会 場 万代シティバスセンター2F

○花絵制作

令和2年度はコロナ感染拡大防止で中止したが、令和3年度はスタッフのみに縮小し制作した。食と花の推進課はSNSによる情報発信とプレスリリースを行った。

日 時 令和3年4月29日(木・祝)

会 場 新潟駅南口中央広場

## 令和 3 年度 花育推進事業の取り組みについて

## 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	R2	R3	目標時 R4	備考	
花育の普及啓発 (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	1,698	1,560	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 3回	各年 2回	食と花の 推進課
家庭、学校、職場等での花育の推進 (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	- 紹介に変更	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムや アグリ・スタディ・プログラム等の 実施団体数	団体	30	51	58	70	食育・花育 センター
6	保育所、幼稚園、小学校の地域との 連携による花育活動実施率	%	48	47	45	60	学校支援課 保育課
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	0	0	20	食と花の 推進課
市民活動、地域活動としての花育の推進 (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	318	335	400	みどりの 政策課
「花や緑」あふれる自然や歴史、文化を次世代へ継承する花育の推進 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流 通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	0	0	330	秋葉区 産業振興課
「花や緑」に親しむ場の整備 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用 した植栽による景観形成等への取 組み率	%	77.6	85.3	86.3	90.0	農村整備・ 水産振興課

(各概要については次ページ以降に記載)



### (1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページ、SNSなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部／3回

配布場所 庁内関係課、小・中学校、幼稚園・保育園等  
区役所、公民館、図書館、花関連施設 など

### (2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、苔やアロマ等多種多様な講座を計78回開催し、2,210人が受講した。4月～6月中旬まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、園芸講座及びイベント等の花育体験活動の実施を中止した。展示会は5月末から再開し、16回行った。

園芸講座 1,560人／61回 花育ミニ体験 650人／17回

展示会 17回

プランターでイチゴ栽培講座

秋の寄せ植え講座

腐葉土づくり講座



### (3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間（4月・10月）」・「花育の日（4月19日・10月19日）」の普及推進  
＜4月の取り組み内容＞

- ・ 小売店32社45店舗の協力のもと、のぼり旗を掲揚し、店独自の特典やサービスとあわせて花の種をプレゼントした。
- ・ 食育・花育センターで4月10日、11日に開催された「春いくフェスタ」の体験参加者69人に花育PRセット（花の種、カイワレ大根種など）を配付した。



＜10月の取り組み内容＞

- ・ 10月16日（土）にいくとびあ食花主催の「にいがたフラワーマルシェ」と同時開催で花育体験ワークショップを3ブース開催し、122人が参加した。花育マスターや花育の日協力店によるワークショップを通して、花や植物に触れる楽しみを実感してもらう機会となった。



実施日 令和3年10月16日(土)

場 所 いくとぴあ食花 花とみどりの展示館

#### ○花育体験ワークショップ

参加者 122人

内 容 花育マスター ・ドライ&プリザをつかったハロウィンアレンジ or スワッグ  
・アロマセラピーのクラフト作り  
花小売店 ・生花のアレンジメント  
・フラワーアレンジメントのデモンストレーション

#### ○にいがたフラワーマルシェ

入場者 1,800人

内 容 「花とみどり」を通してSDGsについて取り組むイベント

- ・リサイクルマーケット ・コキアのほうき作り ・リサイクル鉢ペイント体験
- ・寄せ植え体験 ・寄せ植えコンテスト ・出張園芸相談 ・植物販売
- ・植物チャリティーオークション  
(売上は被災地の緑化支援に取り組む団体に寄付)

#### <3月の取り組み内容>

- ・ 春の花育の日、花育月間のPRを兼ねたアレンジメント講座を3月13日(日)にみなとぴあ敷地内の「旧第四銀行住吉町支店」で開催し、18人が参加した。

フラワーデザイナーの五十嵐仁さんによるデモンストレーションと、冬の終わりから春の芽吹きを表現するアレンジメント作りを行った。

参加者からは「斬新なデザインで楽しかった」、「身近にある花で楽しめるアレンジメントは初めて」、「素敵な空間でお花の講座が出来て良かった」などの感想が寄せられた。



#### (4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進 (資料1-2参照)

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等が行う花育活動へ講師、インストラクターとして紹介している。令和元年度より派遣から紹介に制度変更し、活動回数については花育マスターへのアンケート調査により把握している。

R3 花育マスター登録数 80人 (R2 77人)

R3 花育活動回数 642回/参加者数 4,938人 (R2 374回/4,294人)

#### (5) 団体プログラム等の実施

いくとぴあ食花(食育・花育センター)において、団体プログラムを市内外の小学校や幼稚園、保育園・こども園等を対象に実施した(新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセルが13件あった)。また、市内小学校1校が「アグリ・スタディ・プログラム」を実施した。

団体プログラム等 R3実績 実施校園数 58件/対象者 1,698人

【内訳】小学校 39校/幼・保育園 18園/福祉関係団体 1団体

(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 (資料 1-3 参照)

回答率 95%	市立小学校 106 校		市立保育園 83 園		市立幼稚園 10 園		全体 199 校・園	
R3 花育活動実施	98 校	96%	72 園	91%	8 園	100%	178 校・園	94%
(参考)R2 花育活動実施	103 校	97%	65 園	77%	9 園	90%	178 校・園	88%
R3 地域連携	64 校	63%	17 園	22%	4 園	50%	85 校・園	45%
(参考)R2 地域連携	73 校	69%	17 園	20%	4 園	40%	94 校・園	47%

地域等との連携による花を通じた交流の取り組みの実施率は、昨年度の 47% とほぼ同じ 45% であり、コロナ禍の影響がみられた。一方で、花育活動の実施率は 94% と昨年度の 88% から回復し、特に減少幅が大きかった保育園において回復した。

花育活動の課題としては、「時間に余裕がない」が最も多く、「新型コロナウイルス感染症の影響で地域との連携が難しい」、「活動する予算がない」、「活動に関するノウハウがない」が順に続いた。

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合から花育マスターとして登録してもらい、小学校等の花育活動に派遣していたが、令和元年度に花育マスター制度を派遣から紹介に変更したことに伴い、生産団体の花育マスター登録数は 0 となった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園をはじめ、公共施設や道路用地で緑化活動を行う自治会、地域コミュニティ協議会等の団体への支援として、植栽する花苗などの購入費を補助し、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する事業。令和 3 年度は 335 団体が実施した。



(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

公共施設(新潟市 7 区役所)にて鉢花の寄せ植えを展示し、来庁者・来場者へ PR を行った。



11 月前半展示 南区役所



11 月後半展示 秋葉区役所





12月前半展示 秋葉区役所



12月後半展示 西区役所

#### (10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

多面的機能支払交付金事業を活用した地域共同により、植栽やビオトープづくりなどの景観形成活動を通じ、農村環境の緑化への取り組みを行った。



## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を小学生と一般から募集し、全国から811人、1,205句（R2：778人、1,130句）の応募があった。市の銘産品であるチューリップ、ユリ、アザレア、ボケを題材として各部門の優秀句を選出し、新潟県花き振興協議会と新潟県花木振興協議会の協賛により、市産の花（チューリップ、アザレア）を記念品として贈呈した。また、応募された全句を市ホームページに掲載したほか、ほんぽ〜と（中央図書館）に優秀句を掲示した。

### (2) 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、専門の相談員による電話・メール・対面の相談を行った。

相談件数 5,178件（内訳：来館 2,346件 電話 2,558件 メール・FAX 274件）

### (4) 萬代橋チューリップフェスティバル

市民が育てた約2万6千本の市の花『チューリップ』で市のシンボルである『萬代橋』とその周辺を彩り、市民の皆さんと春の到来を喜び合った。

例年開催していたオープニングセレモニーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しなかったが、多くの市民が訪れ、たくさんのチューリップを見て楽しんでいた。

参加者 442団体及び個人(令和2年8月参加者募集、10月～翌年4月チューリップ育成)

主な参加者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等



「2021年萬代橋チューリップフェスティバル」



3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	「母の日」に新潟産の花を贈ろう	4月29日(木祝) ～5月3日(月祝)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など
2	にいがたサマーリリーフェア 2021 in NEXT21	7月13日(火)～ 16日(金)	NEXT21 1階 アトリウム	・ユリの装飾タワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らし提案展示 など
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月12日(金) ～14日(日)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 ・【SDGsの取り組み】展示終了後のアレンジメントと、メイン装飾花をミニブーケにしたものを来場者に抽選でプレゼント
4	2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ	2月6日(日)～ 13日(日)	新潟日報メディアシップ 1階 MS link	・チューリップを中心とした花のオブジェ ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など

「母の日」



「にいがたサマーリリーフェア 2021」



「いい夫婦の日」

「2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ」

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会による花絵制作

○Sunday だけのチューリップ花屋さん

令和2年度に続き万代シティでチューリップ販売を行った。

日 時 ①令和3年12月19日(日) ②令和4年3月13日(日)

会 場 万代シティバスセンター2F

○花絵制作

令和2年度はコロナ感染拡大防止で中止したが、令和3年度はスタッフのみに縮小し制作した。食と花の推進課はSNSによる情報発信とプレスリリースを行った。

日 時 令和3年4月29日(木・祝)

会 場 新潟駅南口中央広場

## 令和 3 年度 花育推進事業の取り組みについて

## 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	R2	R3	目標時 R4	備考	
<b>花育の普及啓発</b> (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	1,698	1,560	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 3回	各年 2回	食と花の 推進課
<b>家庭, 学校, 職場等での花育の推進</b> (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	- 紹介に変更	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムや アグリ・スタディ・プログラム等の 実施団体数	団体	30	51	58	70	食育・花育 センター
6	保育所, 幼稚園, 小学校の地域との 連携による花育活動実施率	%	48	47	45	60	学校支援課 保育課
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	0	0	20	食と花の 推進課
<b>市民活動, 地域活動としての花育の推進</b> (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	318	335	400	みどりの 政策課
<b>「花や緑」あふれる自然や歴史, 文化を次世代へ継承する花育の推進</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流 通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	0	0	330	秋葉区 産業振興課
<b>「花や緑」に親しむ場の整備</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用 した植栽による景観形成等への取 組み率	%	77.6	85.3	86.3	90.0	農村整備・ 水産振興課

(各概要については次ページ以降に記載)

### (1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページ、SNSなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部／3回

配布場所 庁内関係課、小・中学校、幼稚園・保育園等  
区役所、公民館、図書館、花関連施設 など

### (2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、苔やアロマ等多種多様な講座を計78回開催し、2,210人が受講した。4月～6月中旬まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、園芸講座及びイベント等の花育体験活動の実施を中止した。展示会は5月末から再開し、16回行った。

園芸講座 1,560人／61回 花育ミニ体験 650人／17回

展示会 17回

プランターでイチゴ栽培講座

秋の寄せ植え講座

腐葉土づくり講座



### (3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間（4月・10月）」・「花育の日（4月19日・10月19日）」の普及推進  
＜4月の取り組み内容＞

- ・ 小売店32社45店舗の協力のもと、のぼり旗を掲揚し、店独自の特典やサービスとあわせて花の種をプレゼントした。
- ・ 食育・花育センターで4月10日、11日に開催された「春いくフェスタ」の体験参加者69人に花育PRセット（花の種、カイワレ大根種など）を配付した。



＜10月の取り組み内容＞

- ・ 10月16日（土）にいくとびあ食花主催の「にいがたフラワーマルシェ」と同時開催で花育体験ワークショップを3ブース開催し、122人が参加した。花育マスターや花育の日協力店によるワークショップを通して、花や植物に触れる楽しみを実感してもらう機会となった。





実施日 令和3年10月16日(土)

場 所 いくとぴあ食花 花とみどりの展示館

#### ○花育体験ワークショップ

参加者 122人

内 容 花育マスター ・ドライ&プリザをつかったハロウィンアレンジ or スワッグ  
・アロマセラピーのクラフト作り  
花小売店 ・生花のアレンジメント  
・フラワーアレンジメントのデモンストレーション

#### ○にいがたフラワーマルシェ

入場者 1,800人

内 容 「花とみどり」を通してSDGsについて取り組むイベント

- ・リサイクルマーケット ・コキアのほうき作り ・リサイクル鉢ペイント体験
- ・寄せ植え体験 ・寄せ植えコンテスト ・出張園芸相談 ・植物販売
- ・植物チャリティーオークション  
(売上は被災地の緑化支援に取り組む団体に寄付)

#### <3月の取り組み内容>

- ・ 春の花育の日、花育月間のPRを兼ねたアレンジメント講座を3月13日(日)にみなとぴあ敷地内の「旧第四銀行住吉町支店」で開催し、18人が参加した。

フラワーデザイナーの五十嵐仁さんによるデモンストレーションと、冬の終わりから春の芽吹きを表現するアレンジメント作りを行った。

参加者からは「斬新なデザインで楽しかった」、「身近にある花で楽しめるアレンジメントは初めて」、「素敵な空間でお花の講座が出来て良かった」などの感想が寄せられた。



#### (4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進 (資料1-2参照)

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等が行う花育活動へ講師、インストラクターとして紹介している。令和元年度より派遣から紹介に制度変更し、活動回数については花育マスターへのアンケート調査により把握している。

R3 花育マスター登録数 80人 (R2 77人)

R3 花育活動回数 642回/参加者数 4,938人 (R2 374回/4,294人)

#### (5) 団体プログラム等の実施

いくとぴあ食花(食育・花育センター)において、団体プログラムを市内外の小学校や幼稚園、保育園・こども園等を対象に実施した(新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセルが13件あった)。また、市内小学校1校が「アグリ・スタディ・プログラム」を実施した。

団体プログラム等 R3実績 実施校園数 58件/対象者 1,698人

【内訳】小学校 39校/幼・保育園 18園/福祉関係団体 1団体

(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 (資料 1-3 参照)

回答率 95%	市立小学校 106 校		市立保育園 83 園		市立幼稚園 10 園		全体 199 校・園	
R3 花育活動実施	98 校	96%	72 園	91%	8 園	100%	178 校・園	94%
(参考)R2 花育活動実施	103 校	97%	65 園	77%	9 園	90%	178 校・園	88%
R3 地域連携	64 校	63%	17 園	22%	4 園	50%	85 校・園	45%
(参考)R2 地域連携	73 校	69%	17 園	20%	4 園	40%	94 校・園	47%

地域等との連携による花を通じた交流の取り組みの実施率は、昨年度の 47% とほぼ同じ 45% であり、コロナ禍の影響がみられた。一方で、花育活動の実施率は 94% と昨年度の 88% から回復し、特に減少幅が大きかった保育園において回復した。

花育活動の課題としては、「時間に余裕がない」が最も多く、「新型コロナウイルス感染症の影響で地域との連携が難しい」、「活動する予算がない」、「活動に関するノウハウがない」が順に続いた。

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合から花育マスターとして登録してもらい、小学校等の花育活動に派遣していたが、令和元年度に花育マスター制度を派遣から紹介に変更したことに伴い、生産団体の花育マスター登録数は 0 となった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園をはじめ、公共施設や道路用地で緑化活動を行う自治会、地域コミュニティ協議会等の団体への支援として、植栽する花苗などの購入費を補助し、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する事業。令和 3 年度は 335 団体が実施した。



(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

公共施設(新潟市 7 区役所)にて鉢花の寄せ植えを展示し、来庁者・来場者へ PR を行った。



11 月前半展示 南区役所



11 月後半展示 秋葉区役所



12月前半展示 秋葉区役所



12月後半展示 西区役所

#### (10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

多面的機能支払交付金事業を活用した地域共同により、植栽やビオトープづくりなどの景観形成活動を通じ、農村環境の緑化への取り組みを行った。



## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を小学生と一般から募集し、全国から811人、1,205句（R2：778人、1,130句）の応募があった。市の銘産品であるチューリップ、ユリ、アザレア、ボケを題材として各部門の優秀句を選出し、新潟県花き振興協議会と新潟県花木振興協議会の協賛により、市産の花（チューリップ、アザレア）を記念品として贈呈した。また、応募された全句を市ホームページに掲載したほか、ほんぽ〜と（中央図書館）に優秀句を掲示した。

### (2) 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、専門の相談員による電話・メール・対面の相談を行った。

相談件数 5,178件（内訳：来館 2,346件 電話 2,558件 メール・FAX 274件）

### (4) 萬代橋チューリップフェスティバル

市民が育てた約2万6千本の市の花『チューリップ』で市のシンボルである『萬代橋』とその周辺を彩り、市民の皆さんと春の到来を喜び合った。

例年開催していたオープニングセレモニーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しなかったが、多くの市民が訪れ、たくさんのチューリップを見て楽しんでいた。

参加者 442団体及び個人(令和2年8月参加者募集、10月～翌年4月チューリップ育成)

主な参加者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等



「2021年萬代橋チューリップフェスティバル」



3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	「母の日」に新潟産の花を贈ろう	4月29日(木祝) ～5月3日(月祝)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など
2	にいがたサマーリリーフェア 2021 in NEXT21	7月13日(火)～ 16日(金)	NEXT21 1階 アトリウム	・ユリの装飾タワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らし提案展示 など
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月12日(金) ～14日(日)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 ・【SDGsの取り組み】展示終了後のアレンジメントと、メイン装飾花をミニブーケにしたものを来場者に抽選でプレゼント
4	2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ	2月6日(日)～ 13日(日)	新潟日報メディアシップ 1階 MS link	・チューリップを中心とした花のオブジェ ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など

「母の日」



「にいがたサマーリリーフェア 2021」



「いい夫婦の日」

「2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ」



(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会による花絵制作

○Sunday だけのチューリップ花屋さん

令和2年度に続き万代シティでチューリップ販売を行った。

日 時 ①令和3年12月19日(日) ②令和4年3月13日(日)

会 場 万代シティバスセンター2F

○花絵制作

令和2年度はコロナ感染拡大防止で中止したが、令和3年度はスタッフのみに縮小し制作した。食と花の推進課はSNSによる情報発信とプレスリリースを行った。

日 時 令和3年4月29日(木・祝)

会 場 新潟駅南口中央広場

## 令和 3 年度 花育推進事業の取り組みについて

## 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	R2	R3	目標時 R4	備考	
<b>花育の普及啓発</b> (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	1,698	1,560	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 3回	各年 2回	食と花の 推進課
<b>家庭, 学校, 職場等での花育の推進</b> (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	- 紹介に変更	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムや アグリ・スタディ・プログラム等の 実施団体数	団体	30	51	58	70	食育・花育 センター
6	保育所, 幼稚園, 小学校の地域との 連携による花育活動実施率	%	48	47	45	60	学校支援課 保育課
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	0	0	20	食と花の 推進課
<b>市民活動, 地域活動としての花育の推進</b> (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	318	335	400	みどりの 政策課
<b>「花や緑」あふれる自然や歴史, 文化を次世代へ継承する花育の推進</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流 通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	0	0	330	秋葉区 産業振興課
<b>「花や緑」に親しむ場の整備</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用 した植栽による景観形成等への取 組み率	%	77.6	85.3	86.3	90.0	農村整備・ 水産振興課

(各概要については次ページ以降に記載)

### (1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページ、SNSなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部／3回

配布場所 庁内関係課、小・中学校、幼稚園・保育園等  
区役所、公民館、図書館、花関連施設 など

### (2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、苔やアロマ等多種多様な講座を計78回開催し、2,210人が受講した。4月～6月中旬まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、園芸講座及びイベント等の花育体験活動の実施を中止した。展示会は5月末から再開し、16回行った。

園芸講座 1,560人／61回 花育ミニ体験 650人／17回

展示会 17回

プランターでイチゴ栽培講座

秋の寄せ植え講座

腐葉土づくり講座



### (3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間（4月・10月）」・「花育の日（4月19日・10月19日）」の普及推進  
＜4月の取り組み内容＞

- ・ 小売店32社45店舗の協力のもと、のぼり旗を掲揚し、店独自の特典やサービスとあわせて花の種をプレゼントした。
- ・ 食育・花育センターで4月10日、11日に開催された「春いくフェスタ」の体験参加者69人に花育PRセット（花の種、カイワレ大根種など）を配付した。



＜10月の取り組み内容＞

- ・ 10月16日（土）にいくとびあ食花主催の「にいがたフラワーマルシェ」と同時開催で花育体験ワークショップを3ブース開催し、122人が参加した。花育マスターや花育の日協力店によるワークショップを通して、花や植物に触れる楽しみを実感してもらう機会となった。



実施日 令和3年10月16日(土)

場 所 いくとぴあ食花 花とみどりの展示館

#### ○花育体験ワークショップ

参加者 122人

内 容 花育マスター ・ドライ&プリザをつかったハロウィンアレンジ or スワッグ  
・アロマセラピーのクラフト作り  
花小売店 ・生花のアレンジメント  
・フラワーアレンジメントのデモンストレーション

#### ○にいがたフラワーマルシェ

入場者 1,800人

内 容 「花とみどり」を通してSDGsについて取り組むイベント

- ・リサイクルマーケット ・コキアのほうき作り ・リサイクル鉢ペイント体験
- ・寄せ植え体験 ・寄せ植えコンテスト ・出張園芸相談 ・植物販売
- ・植物チャリティーオークション  
(売上は被災地の緑化支援に取り組む団体に寄付)

#### <3月の取り組み内容>

- ・ 春の花育の日、花育月間のPRを兼ねたアレンジメント講座を3月13日(日)にみなとぴあ敷地内の「旧第四銀行住吉町支店」で開催し、18人が参加した。

フラワーデザイナーの五十嵐仁さんによるデモンストレーションと、冬の終わりから春の芽吹きを表現するアレンジメント作りを行った。

参加者からは「斬新なデザインで楽しかった」、「身近にある花で楽しめるアレンジメントは初めて」、「素敵な空間でお花の講座が出来て良かった」などの感想が寄せられた。



#### (4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進 (資料1-2参照)

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等が行う花育活動へ講師、インストラクターとして紹介している。令和元年度より派遣から紹介に制度変更し、活動回数については花育マスターへのアンケート調査により把握している。

R3 花育マスター登録数 80人 (R2 77人)

R3 花育活動回数 642回/参加者数 4,938人 (R2 374回/4,294人)

#### (5) 団体プログラム等の実施

いくとぴあ食花(食育・花育センター)において、団体プログラムを市内外の小学校や幼稚園、保育園・こども園等を対象に実施した(新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセルが13件あった)。また、市内小学校1校が「アグリ・スタディ・プログラム」を実施した。

団体プログラム等 R3実績 実施校園数 58件/対象者 1,698人

【内訳】小学校 39校/幼・保育園 18園/福祉関係団体 1団体



(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 (資料 1-3 参照)

回答率 95%	市立小学校 106 校		市立保育園 83 園		市立幼稚園 10 園		全体 199 校・園	
R3 花育活動実施	98 校	96%	72 園	91%	8 園	100%	178 校・園	94%
(参考)R2 花育活動実施	103 校	97%	65 園	77%	9 園	90%	178 校・園	88%
R3 地域連携	64 校	63%	17 園	22%	4 園	50%	85 校・園	45%
(参考)R2 地域連携	73 校	69%	17 園	20%	4 園	40%	94 校・園	47%

地域等との連携による花を通じた交流の取り組みの実施率は、昨年度の 47% とほぼ同じ 45% であり、コロナ禍の影響がみられた。一方で、花育活動の実施率は 94% と昨年度の 88% から回復し、特に減少幅が大きかった保育園において回復した。

花育活動の課題としては、「時間に余裕がない」が最も多く、「新型コロナウイルス感染症の影響で地域との連携が難しい」、「活動する予算がない」、「活動に関するノウハウがない」が順に続いた。

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合から花育マスターとして登録してもらい、小学校等の花育活動に派遣していたが、令和元年度に花育マスター制度を派遣から紹介に変更したことに伴い、生産団体の花育マスター登録数は 0 となった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園をはじめ、公共施設や道路用地で緑化活動を行う自治会、地域コミュニティ協議会等の団体への支援として、植栽する花苗などの購入費を補助し、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する事業。令和 3 年度は 335 団体が実施した。



(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

公共施設(新潟市 7 区役所)にて鉢花の寄せ植えを展示し、来庁者・来場者へ PR を行った。



11 月前半展示 南区役所



11 月後半展示 秋葉区役所



12月前半展示 秋葉区役所



12月後半展示 西区役所

#### (10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

多面的機能支払交付金事業を活用した地域共同により、植栽やビオトープづくりなどの景観形成活動を通じ、農村環境の緑化への取り組みを行った。



## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を小学生と一般から募集し、全国から811人、1,205句（R2：778人、1,130句）の応募があった。市の銘産品であるチューリップ、ユリ、アザレア、ボケを題材として各部門の優秀句を選出し、新潟県花き振興協議会と新潟県花木振興協議会の協賛により、市産の花（チューリップ、アザレア）を記念品として贈呈した。また、応募された全句を市ホームページに掲載したほか、ほんぽ〜と（中央図書館）に優秀句を掲示した。

### (2) 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、専門の相談員による電話・メール・対面の相談を行った。

相談件数 5,178件（内訳：来館 2,346件 電話 2,558件 メール・FAX 274件）

### (4) 萬代橋チューリップフェスティバル

市民が育てた約2万6千本の市の花『チューリップ』で市のシンボルである『萬代橋』とその周辺を彩り、市民の皆さんと春の到来を喜び合った。

例年開催していたオープニングセレモニーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しなかったが、多くの市民が訪れ、たくさんのチューリップを見て楽しんでいた。

参加者 442団体及び個人(令和2年8月参加者募集、10月～翌年4月チューリップ育成)

主な参加者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等



「2021年萬代橋チューリップフェスティバル」



3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	「母の日」に新潟産の花を贈ろう	4月29日(木祝) ～5月3日(月祝)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など
2	にいがたサマーリリーフェア 2021 in NEXT21	7月13日(火)～ 16日(金)	NEXT21 1階 アトリウム	・ユリの装飾タワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らし提案展示 など
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月12日(金) ～14日(日)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 ・【SDGsの取り組み】展示終了後のアレンジメントと、メイン装飾花をミニブーケにしたものを来場者に抽選でプレゼント
4	2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ	2月6日(日)～ 13日(日)	新潟日報メディアシップ 1階 MS link	・チューリップを中心とした花のオブジェ ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など

「母の日」



「にいがたサマーリリーフェア 2021」



「いい夫婦の日」

「2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ」



(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会による花絵制作

○Sunday だけのチューリップ花屋さん

令和2年度に続き万代シティでチューリップ販売を行った。

日 時 ①令和3年12月19日(日) ②令和4年3月13日(日)

会 場 万代シティバスセンター2F

○花絵制作

令和2年度はコロナ感染拡大防止で中止したが、令和3年度はスタッフのみに縮小し制作した。食と花の推進課はSNSによる情報発信とプレスリリースを行った。

日 時 令和3年4月29日(木・祝)

会 場 新潟駅南口中央広場

## 令和 3 年度 花育推進事業の取り組みについて

## 1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	R2	R3	目標時 R4	備考	
<b>花育の普及啓発</b> (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	1,698	1,560	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 3回	各年 2回	食と花の 推進課
<b>家庭, 学校, 職場等での花育の推進</b> (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	- 紹介に変更	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムや アグリ・スタディ・プログラム等の 実施団体数	団体	30	51	58	70	食育・花育 センター
6	保育所, 幼稚園, 小学校の地域との 連携による花育活動実施率	%	48	47	45	60	学校支援課 保育課
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	0	0	20	食と花の 推進課
<b>市民活動, 地域活動としての花育の推進</b> (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	318	335	400	みどりの 政策課
<b>「花や緑」あふれる自然や歴史, 文化を次世代へ継承する花育の推進</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流 通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	0	0	330	秋葉区 産業振興課
<b>「花や緑」に親しむ場の整備</b> (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用 した植栽による景観形成等への取 組み率	%	77.6	85.3	86.3	90.0	農村整備・ 水産振興課

(各概要については次ページ以降に記載)

### (1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページ、SNSなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部／3回

配布場所 庁内関係課、小・中学校、幼稚園・保育園等  
区役所、公民館、図書館、花関連施設 など

### (2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、苔やアロマ等多種多様な講座を計78回開催し、2,210人が受講した。4月～6月中旬まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、園芸講座及びイベント等の花育体験活動の実施を中止した。展示会は5月末から再開し、16回行った。

園芸講座 1,560人／61回 花育ミニ体験 650人／17回

展示会 17回

プランターでイチゴ栽培講座

秋の寄せ植え講座

腐葉土づくり講座



### (3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間（4月・10月）」・「花育の日（4月19日・10月19日）」の普及推進  
＜4月の取り組み内容＞

- ・ 小売店32社45店舗の協力のもと、のぼり旗を掲揚し、店独自の特典やサービスとあわせて花の種をプレゼントした。
- ・ 食育・花育センターで4月10日、11日に開催された「春いくフェスタ」の体験参加者69人に花育PRセット（花の種、カイワレ大根種など）を配付した。



＜10月の取り組み内容＞

- ・ 10月16日（土）にいくとびあ食花主催の「にいがたフラワーマルシェ」と同時開催で花育体験ワークショップを3ブース開催し、122人が参加した。花育マスターや花育の日協力店によるワークショップを通して、花や植物に触れる楽しみを実感してもらう機会となった。





実施日 令和3年10月16日(土)

場 所 いくとぴあ食花 花とみどりの展示館

#### ○花育体験ワークショップ

参加者 122人

内 容 花育マスター ・ドライ&プリザをつかったハロウィンアレンジ or スワッグ  
・アロマテラピーのクラフト作り  
花小売店 ・生花のアレンジメント  
・フラワーアレンジメントのデモンストレーション

#### ○にいがたフラワーマルシェ

入場者 1,800人

内 容 「花とみどり」を通してSDGsについて取り組むイベント

- ・リサイクルマーケット ・コキアのほうき作り ・リサイクル鉢ペイント体験
- ・寄せ植え体験 ・寄せ植えコンテスト ・出張園芸相談 ・植物販売
- ・植物チャリティーオークション  
(売上は被災地の緑化支援に取り組む団体に寄付)

#### <3月の取り組み内容>

- ・ 春の花育の日、花育月間のPRを兼ねたアレンジメント講座を3月13日(日)にみなとぴあ敷地内の「旧第四銀行住吉町支店」で開催し、18人が参加した。

フラワーデザイナーの五十嵐仁さんによるデモンストレーションと、冬の終わりから春の芽吹きを表現するアレンジメント作りを行った。

参加者からは「斬新なデザインで楽しかった」、「身近にある花で楽しめるアレンジメントは初めて」、「素敵な空間でお花の講座が出来て良かった」などの感想が寄せられた。



#### (4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進 (資料1-2参照)

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等が行う花育活動へ講師、インストラクターとして紹介している。令和元年度より派遣から紹介に制度変更し、活動回数については花育マスターへのアンケート調査により把握している。

R3 花育マスター登録数 80人 (R2 77人)

R3 花育活動回数 642回/参加者数 4,938人 (R2 374回/4,294人)

#### (5) 団体プログラム等の実施

いくとぴあ食花(食育・花育センター)において、団体プログラムを市内外の小学校や幼稚園、保育園・こども園等を対象に実施した(新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセルが13件あった)。また、市内小学校1校が「アグリ・スタディ・プログラム」を実施した。

団体プログラム等 R3実績 実施校園数 58件/対象者 1,698人

【内訳】小学校 39校/幼・保育園 18園/福祉関係団体 1団体

(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 (資料 1-3 参照)

回答率 95%	市立小学校 106校		市立保育園 83園		市立幼稚園 10園		全体 199校・園	
R3 花育活動実施	98校	96%	72園	91%	8園	100%	178校・園	94%
(参考)R2 花育活動実施	103校	97%	65園	77%	9園	90%	178校・園	88%
R3 地域連携	64校	63%	17園	22%	4園	50%	85校・園	45%
(参考)R2 地域連携	73校	69%	17園	20%	4園	40%	94校・園	47%

地域等との連携による花を通じた交流の取り組みの実施率は、昨年度の47%とほぼ同じ45%であり、コロナ禍の影響がみられた。一方で、花育活動の実施率は94%と昨年度の88%から回復し、特に減少幅が大きかった保育園において回復した。

花育活動の課題としては、「時間に余裕がない」が最も多く、「新型コロナウイルス感染症の影響で地域との連携が難しい」、「活動する予算がない」、「活動に関するノウハウがない」が順に続いた。

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合から花育マスターとして登録してもらい、小学校等の花育活動に派遣していたが、令和元年度に花育マスター制度を派遣から紹介に変更したことに伴い、生産団体の花育マスター登録数は0となった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園をはじめ、公共施設や道路用地で緑化活動を行う自治会、地域コミュニティ協議会等の団体への支援として、植栽する花苗などの購入費を補助し、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する事業。令和3年度は335団体が実施した。



(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

公共施設(新潟市7区役所)にて鉢花の寄せ植えを展示し、来庁者・来場者へPRを行った。



11月前半展示 南区役所



11月後半展示 秋葉区役所



12月前半展示 秋葉区役所



12月後半展示 西区役所

#### (10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

多面的機能支払交付金事業を活用した地域共同により、植栽やビオトープづくりなどの景観形成活動を通じ、農村環境の緑化への取り組みを行った。



## 2 その他の取り組み

### (1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を小学生と一般から募集し、全国から811人、1,205句（R2：778人、1,130句）の応募があった。市の銘産品であるチューリップ、ユリ、アザレア、ボケを題材として各部門の優秀句を選出し、新潟県花き振興協議会と新潟県花木振興協議会の協賛により、市産の花（チューリップ、アザレア）を記念品として贈呈した。また、応募された全句を市ホームページに掲載したほか、ほんぽ〜と（中央図書館）に優秀句を掲示した。

### (2) 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、専門の相談員による電話・メール・対面の相談を行った。

相談件数 5,178件（内訳：来館 2,346件 電話 2,558件 メール・FAX 274件）

### (4) 萬代橋チューリップフェスティバル

市民が育てた約2万6千本の市の花『チューリップ』で市のシンボルである『萬代橋』とその周辺を彩り、市民の皆さんと春の到来を喜び合った。

例年開催していたオープニングセレモニーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しなかったが、多くの市民が訪れ、たくさんのチューリップを見て楽しんでいた。

参加者 442団体及び個人(令和2年8月参加者募集、10月～翌年4月チューリップ育成)

主な参加者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等



「2021年萬代橋チューリップフェスティバル」



3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	「母の日」に新潟産の花を贈ろう	4月29日(木祝) ～5月3日(月祝)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など
2	にいがたサマーリリーフェア 2021 in NEXT21	7月13日(火)～ 16日(金)	NEXT21 1階 アトリウム	・ユリの装飾タワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らし提案展示 など
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月12日(金) ～14日(日)	食育・花育センター 1階 アトリウム	・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 ・【SDGsの取り組み】展示終了後のアレンジメントと、メイン装飾花をミニブーケにしたものを来場者に抽選でプレゼント
4	2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ	2月6日(日)～ 13日(日)	新潟日報メディアシップ 1階 MS link	・チューリップを中心とした花のオブジェ ・市内花店のギフトアレンジ展示 ・花のある暮らし提案展示 など

「母の日」



「にいがたサマーリリーフェア 2021」



「いい夫婦の日」

「2022 フラワーバレンタイン in メディアシップ」

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会による花絵制作

○Sunday だけのチューリップ花屋さん

令和2年度に続き万代シティでチューリップ販売を行った。

日 時 ①令和3年12月19日(日) ②令和4年3月13日(日)

会 場 万代シティバスセンター2F

○花絵制作

令和2年度はコロナ感染拡大防止で中止したが、令和3年度はスタッフのみに縮小し制作した。食と花の推進課はSNSによる情報発信とプレスリリースを行った。

日 時 令和3年4月29日(木・祝)

会 場 新潟駅南口中央広場